

地方新聞紙上にみられる地域別外国報道量について

—徳島を例として—

萩原 八郎

Reginal Analysis of Foreign Reports of a Local Newspaper
— the case of Tokushima —

Hachiro HAGIWARA

ABSTRACT

Today, in an internationalizing society, the newspaper is one of the most important mass-media for people to get news and information of abroad. In the case of Tokushima, the Tokushima Shimbun plays an important role with its relatively high subscription rate of the local people. Through the analysis of quantity of foreign reports, we can recognize an imbalance of source regions and topics. Not many cultural reports of various parts of the world are reported by the newspaper. The newspaper has its own social role, and we should know characteristics of each mass-media to get foreign information effectively from diverse ways.

KEYWORDS: mass-media, reginal newspaper, foreign report, information source

はじめに

国際化しつつある今日、外国の情報については、国際理解講座と称して様々な国の事情や文化についての話を聞いたり、各種の文化的な公演を見るような機会が少しずつ増えてきているが、徳島のような地方都市においては、日頃、テレビ、ラジオそして新聞といったマスメディアは外国のニュースを知るための最も重要な情報源である。新聞はテレビやラジオと同様、情報をすばやく、かつ広く伝える一方、紙に印刷されているので、時と場所に関わらず多くの人々が目にすることができるなどの特長を持っている。徳島県では、地方新聞である徳島新聞が読売新聞や朝日新聞などの全国紙に対して圧倒的なシェアを示しており、80%台の高い県内世帯普及率は全国でも徳島新聞の事例だけである。その理由としては、地方（地元）に関する情報量が多いうえに、全国そして海外のニュースも一応カバーしているため、住民は他の新聞では地元の情報が不足ぎみと感じる一方、その他の全国や海外の情報についても一定の満足が得られると感じているのではないかと思われる。

る。従って同新聞を通じて様々な情報を得ている徳島県人にとって、その報道ぶりは大きな関心事のほざである。そこで本研究では、同新聞の外国報道記事がどこからどれだけ送られているのかを9カ月というある程度長期にわたって月単位に集計してみた。これまで外国記事に関する調査は、複数の新聞について行われているが、1週間程度のサンプル調査にとどまっており、長期にわたって行われたものはなかった。本調査は地方都市の住民の立場から、大きな影響力をもつ購読新聞の外国情報に関する報道ぶりに対して実証的な分析を試みたものである。

I. 外国記事の集計について

かつて、日本新聞協会研究所によって、1979年2月4日～10日および1982年10月24日～30日の各1週間にわたって新聞の外国の報道に関する記事本数と記事面積のサンプル調査が行われた。1979年2月実施の調査では、日本の新聞から全国紙の朝日新聞と読売新聞、経済専門紙の日本経済新聞、地方紙のうちブロック紙の西日本新聞と北海道新聞、県紙の高

知新聞と新潟新聞の7紙がとり上げられ、外国関係記事について発信地域や言及対象国などの調査項目に従って集計された。その際の「外国関係記事」の選択基準は、外信（外国から送られてきたもの）ばかりでなく外信以外でも外国について言及している記事、外国人の日本国外での動静、外国（人）を対象とする内外の研究およびその紹介記事、そして日本国外で出版・発行・制作された書籍・レコード・映画等の紹介記事とされた。一方1982年10月実施の調査では、日本（朝日、西日本、高知各新聞）およびアメリカから各3紙、アセアン（1982年時の）5カ国から各2紙、韓国、香港、オーストラリア、イギリス、フランスから各2紙、インドから1紙の計14カ国29紙の国際ニュースが対象となった。その際の「国際ニュース」の定義も、外国から送られてきた記事ばかりでなく、外国（人）に言及している（国内でつくられた）記事をも含めている。今回筆者による徳島新聞の外国記事の集計では、外国から送られてきた記事（以下、外信記事という）だけを対象とし、国内でつくられた記事は、たとえ外国（人）に言及していても除くことにした。というのは、どの程度言及しているかによって国際ニュースとするか国内ニュースとするかの判断が難しいが、外国から送られてきた記事であれば、通常最初か最後に発信場所が明記されているので、集計作業に好都合であったからである。

表1から9までは、1993年7月1日から翌年3月31日までの9カ月間の月ごとの集計である。地域は、「アングロアメリカ」、「ラテンアメリカ」、「アジア」、「ヨーロッパ」、「アフリカ」、および「オセアニア」の6つに分けた。次に「アングロアメリカ」のうち「USA」の分についても集計し、同様に「ラテンアメリカ」のうち「メキシコ」、および「ブラジル」についても参考までにみた。また、「アジア」のうち中国、北朝鮮、韓国、台湾、香港の「東アジア」、およびフィリピン、ベトナム、ミャンマー、インドネシアなどの「東南アジア」をとりだした。「ヨーロッパ」は、「ロシアおよび旧ソ連諸国」、「東欧」、そして「西欧」の3つに小区分した。なお、旧ソ連諸国でもウラル山脈と黒海を結ぶ線よりも東に位置する中央アジアやカフカス山脈地方の国々は「アジ

ア」にカウントした。

記事の分類は、大きく「政治」、「経済」、そして「文化・スポーツ他」の3つとした。ただし、「政治」の欄は、各国の政府や政策に関わる場合（スポーツを除く）すべてを含み、経済的な問題であっても、たとえばガット・ウルグアイラウンドのように外交的問題であれば、これを「政治」の記事として集計した。「経済」の欄は、政治的性格よりも経済的問題が主であるような、たとえば企業の売り上げに関することや経済動向についての記事をカウントした。テロ事件などは政治色が強い「政治」記事とし、その他のいわゆる三面記事の事件は、各国政府に直接関わること以外は「文化・スポーツ他」にカウントした。また、オリンピック開催地問題なども、外交的性格が強いもののスポーツの分野であるとしてこの欄に集計した。

記事数は見出しと発信源（たとえば【パリ1日共同】など）が明記されていれば関連記事であってもそれぞれにカウントした。記事分量の単位はセンチメートルであるが、これは記事の横の長さ（総延長）を示したもので、これに一段の高さ（約3.4cm）をかければ単位が平方センチメートルの記事面積となる。記事分量の欄の（ ）の中の数字は、別の発信地からの記事において言及されている場合を示し、たとえばニューヨークの国連本部においてボスニア・ヘルツェゴビナ問題や中東問題について討議されている様子が報道された場合、「USA」からの「政治」記事としてカウントされる一方、東欧やアジアといった言及されている地域の欄にも（ ）で記事分量について表示される。なお、「アングロアメリカ」の欄における（ ）はカナダが言及されている場合を示し、「ラテンアメリカ」の欄の（ ）はメキシコとブラジル以外のラテンアメリカ地域が言及されている場合を示す。同様に「アジア」の欄の（ ）は東および東南アジアを除くアジア、つまり西アジアや南アジアなどについて言及されている場合を示すが、「ヨーロッパ」の場合は3地域に小区分されているのでここに（ ）で表示されることはない。また、「東アジア」の欄では日本について言及されているものについてはカウントしていない。

地方新聞紙上にみられる地域別外国報道量について

表1：徳島新聞外信記事 1993年7月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	115	(15)2,556	22	469	94	2,725	231	5,750
うちUSA	115	(790)2,556	22	469	93	2,711	230	5,736
ラテンアメリカ	15	(173) 326	3	72	9	125	27	523
うちメキシコ	0	0	0	0	0	0	0	0
うちブラジル	5	147	1	27	6	101	12	275
アジア(黒海以東)	196	(580)4,474	6	169	26	458	228	5,101
うち東アジア	78	(578)1,853	5	130	11	(10) 221	94	2,204
うち東南アジア	55	(109)1,788	0	0	7	108	62	1,896
ヨーロッパ(黒海以西)	113	2,764	22	609	56	1,982	191	5,355
うち露及び旧ソ連諸国	30	(219) 852	4	100	0	0	34	952
うち東欧	19	(317) 329	0	0	1	7	20	336
うち西欧(北・南欧)	64	(349)1,583	18	509	55	1,975	137	4,067
アフリカ	36	(416) 726	0	0	0	(60) 0	36	726
オセアニア	0	0	0	0	1	6	1	6
計	475	10,846	53	1,319	186	5,296	714	17,461

表2：徳島新聞外信記事 1993年8月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	88	2,080	32	811	80	1,839	200	4,730
うちUSA	88	(603)2,080	32	811	72	1,677	192	4,568
ラテンアメリカ	24	(13) 550	2	18	4	125	30	693
うちメキシコ	0	(46) 0	0	0	0	0	0	0
うちブラジル	2	90	2	18	1	(8) 22	5	130
アジア(黒海以東)	179	(525)4,383	5	84	35	(12) 544	219	5,011
うち東アジア	70	(319)1,753	3	58	16	262	89	2,073
うち東南アジア	46	(86)1,134	1	20	14	233	61	1,387
ヨーロッパ(黒海以西)	132	3,795	21	357	76	2,252	229	6,404
うち露及び旧ソ連諸国	27	(230) 533	2	24	2	28	31	585
うち東欧	35	(1,414) 1,096	1	23	2	31	38	1,150
うち西欧(北・南欧)	70	(67)2,166	18	310	72	2,193	160	4,669
アフリカ	30	(151) 982	0	0	1	12	31	994
オセアニア	1	20	1	9	4	85	6	114
計	454	11,810	61	1,279	200	4,857	715	17,946

表3：徳島新聞外信記事 1993年9月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	120	(11)3,591	35	856	91	2,809	246	7,256
うちUSA	118	(138)3,548	35	856	79	(4)2,499	232	6,903
ラテンアメリカ	14	(48) 141	0	0	8	(13) 164	22	305
うちメキシコ	0	(11) 0	0	0	0	0	0	0
うちブラジル	4	45	0	0	1	13	5	58
アジア(黒海以東)	196	(1,708) 5,622	4	133	17	(8) 409	217	6,164
うち東アジア	50	(242) 985	4	133	12	(135) 356	66	1,474
うち東南アジア	41	(36)1,307	0	0	4	37	45	1,344
ヨーロッパ(黒海以西)	124	2,851	13	273	40	1,286	177	4,410
うち露及び旧ソ連諸国	55	(284)1,412	1	14	0	(11) 0	56	1,426
うち東欧	20	(301) 507	0	0	2	101	22	608
うち西欧(北・南欧)	49	(153) 932	12	259	38	(12)1,185	99	2,376
アフリカ	41	(380) 971	0	0	3	120	44	991
オセアニア	1	(18) 45	0	0	3	50	4	95
計	496	13,221	52	1,262	162	4,738	710	19,221

表4：徳島新聞外信記事 1993年10月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	111	(121)2,812	14	319	57	2,167	182	5,298
うちUSA	101	(381)2,431	14	319	49	(27)1,671	164	4,421
ラテンアメリカ	25	(453) 619	1	11	4	70	30	700
うちメキシコ	0	0	0	0	0	0	0	0
うちブラジル	2	45	0	0	0	0	2	45
アジア(黒海以東)	132	(511)2,721	8	(26) 228	71	(7)3,306	211	6,255
うち東アジア	61	(462)1,056	5	180	15	338	81	1,547
うち東南アジア	22	(56) 620	3	48	7	104	32	772
ヨーロッパ(黒海以西)	151	4,448	4	219	44	793	199	5,460
うち露及び旧ソ連諸国	75	(319)2,172	0	0	2	14	77	2,186
うち東欧	10	(74) 160	0	0	0	0	10	160
うち西欧(北・南欧)	66	(122)2,116	4	219	42	779	112	3,114
アフリカ	52	(760)1,055	0	0	4	100	56	1,155
オセアニア	2	26	2	36	1	8	5	70
計	473	11,681	29	813	181	6,444	683	18,938

表5：徳島新聞外信記事 1993年11月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	157	(153)5,319	6	106	38	1,187	201	6,612
うちUSA	155	(514)5,260	6	106	37	1,176	198	6,542
ラテンアメリカ	20	(196) 566	0	0	2	47	22	613
うちメキシコ	2	(167) 106	0	0	0	0	2	106
うちブラジル	3	23	0	0	1	41	4	64
アジア(黒海以東)	129	(533)2,538	8	128	23	778	160	3,444
うち東アジア	70	(1,417)1,636	5	(21) 58	13	(11) 429	88	2,123
うち東南アジア	18	(132) 310	3	70	7	180	28	560
ヨーロッパ(黒海以西)	124	3,002	15	264	35	1,128	174	4,394
うち露及び旧ソ連諸国	25	(303) 451	0	0	0	0	25	451
うち東欧	11	(302) 233	1	8	1	35	13	277
うち西欧(北・南欧)	88	(331)2,318	14	(12) 255	34	1,093	136	3,666
アフリカ	37	(230) 730	0	0	1	90	38	821
オセアニア	6	(32) 198	0	0	6	165	12	363
計	473	12,354	29	498	105	3,395	607	16,247

表6：徳島新聞外信記事 1993年12月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	97	(76)2,227	19	508	37	997	153	3,732
うちUSA	95	(584)2,189	19	508	36	(7) 963	150	3,660
ラテンアメリカ	24	(59) 499	0	0	10	135	34	634
うちメキシコ	2	(21) 13	0	0	0	0	2	13
うちブラジル	1	8	0	0	2	39	3	47
アジア(黒海以東)	155	(550)3,457	8	205	30	805	193	4,467
うち東アジア	83	(644)1,995	4	136	14	229	101	2,360
うち東南アジア	19	(67) 424	2	44	13	527	34	995
ヨーロッパ(黒海以西)	192	5,124	10	205	85	2,386	287	7,715
うち露及び旧ソ連諸国	64	(670)1,886	0	0	1	8	65	1,894
うち東欧	28	(280) 620	1	18	6	118	35	756
うち西欧(北・南欧)	100	(199)2,618	9	187	78	2,260	187	5,065
アフリカ	45	(76)1,097	0	0	0	0	45	1,097
オセアニア	2	(6) 61	1	11	1	5	4	77
計	515	12,465	38	929	163	4,328	716	17,722

地方新聞紙上にみられる地域別外国報道量について

表7：徳島新聞外信記事 1994年1月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	122	3,188	26	635	59	1,525	207	5,348
うちUSA	121	(1,269)3,179	26	635	58	(31)1,448	205	5,262
ラテンアメリカ	20	(7)519	0	0	2	88	22	604
うちメキシコ	12	372	0	0	0	0	12	372
うちブラジル	2	101	0	0	1	35	3	136
アジア(黒海以東)	137	(460)2,634	10	161	21	401	168	3,196
うち東アジア	77	(545)1,758	8	118	11	257	96	2,133
うち東南アジア	25	(55)361	2	43	7	122	34	526
ヨーロッパ(黒海以西)	174	4,535	8	197	52	1,383	234	6,115
うち露及び旧ソ連諸国	69	(607)1,839	1	20	1	(17)44	71	1,903
うち東欧	27	(1,100)543	0	0	5	67	32	610
うち西欧(北・南欧)	78	(303)2,153	7	177	46	1,272	131	3,602
アフリカ	28	(56)595	0	0	0	0	28	595
オセアニア	0	0	0	0	29	2,073	29	2,073
計	481	11,468	44	993	163	5,470	688	17,931

表8：徳島新聞外信記事 1994年2月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	118	3,235	17	554	68	1,284	203	5,073
うちUSA	117	(406)3,227	17	554	63	(12)1,129	197	4,910
ラテンアメリカ	16	230	0	0	4	92	20	322
うちメキシコ	3	95	0	0	0	0	3	95
うちブラジル	1	10	0	0	2	62	3	72
アジア(黒海以東)	128	(323)2,963	1	7	21	314	150	3,284
うち東アジア	54	(856)1,572	1	7	10	(15)168	65	1,747
うち東南アジア	31	(198)593	0	0	10	139	41	732
ヨーロッパ(黒海以西)	150	3,948	9	207	129	13,018	288	17,173
うち露及び旧ソ連諸国	39	(353)943	1	18	4	27	44	988
うち東欧	40	(1,592)987	0	0	1	11	41	998
うち西欧(北・南欧)	71	(67)2,018	8	189	124	12,980	203	15,187
アフリカ	28	(113)613	0	0	2	45	30	658
オセアニア	3	(29)44	0	0	7	123	10	167
計	443	11,033	27	768	231	14,876	701	26,677

表9：徳島新聞外信記事 1994年3月集計 (記事分量の単位はcm)

地 域	政 治		経 済		文化・スポーツ他		計	
	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量	記事数	記事分量
アングロアメリカ	136	3,735	16	434	102	2,148	254	6,317
うちUSA	136	(796)3,735	16	(22)434	94	1,995	246	6,164
ラテンアメリカ	14	(38)365	0	0	2	(11)12	16	377
うちメキシコ	6	163	0	0	1	6	7	169
うちブラジル	3	85	0	0	1	6	4	91
アジア(黒海以東)	160	(633)3,886	2	75	21	382	183	4,343
うち東アジア	106	(927)2,989	2	75	11	140	119	3,204
うち東南アジア	26	(137)435	0	0	8	176	34	611
ヨーロッパ(黒海以西)	144	2,837	5	78	35	1,277	184	4,192
うち露及び旧ソ連諸国	34	(122)575	0	0	0	0	34	575
うち東欧	36	(486)679	0	0	3	119	39	798
うち西欧(北・南欧)	74	(74)1,573	5	78	32	1,158	111	2,809
アフリカ	49	(37)1,382	0	0	1	8	50	1,390
オセアニア	3	63	0	0	3	31	6	94
計	506	12,268	23	587	164	3,858	693	16,713

II. 外信記事の月ごとの集計から

表1（93年7月）から表9（94年3月）までは、月単位の集計であるが、1カ月分でも全く記事がなかったり、あるいは非常に少ない欄があり、それはほぼ毎月共通している。オセアニア地域などはその典型であろう。（ただし、94年1月の「文化・スポーツ」欄は、全豪オープンテニスの報道で多くなっている。）国際機関の多くはアメリカやヨーロッパに立地しているため、必然的にこれらの地域からの記事は多くなる一方、日本から遠い場所での出来事は報道するに値すると判断される場合のみ記事として掲載されることになる。リレハンメル冬季オリンピックのような国際的規模の行事が開催されたり、旧ユーゴの地域紛争のような大事件が勃発したりした場合、当然数値に反映されるが、いわゆる平常時において掲載される記事が多いかどうかは、その地域（国）が日本にとって、あるいは読者にとっていかに重要と認識されているかという問題とも密接な関係があると思われる。欧米やアジアからはコンスタントに記事が送られてきている一方、ラテンアメリカ、アフリカおよびオセアニアからの記事は比較的少ないという地域的偏重が認められる。

次に、その地域的偏重において「政治」、「経済」、「文化・スポーツ他」の分野的偏重も認められる。たとえば「ロシアおよび旧ソ連諸国」や「アフリカ」などの欄では「文化・スポーツ他」に比べて「政治」の分野の記事が圧倒的に多い。これはそれらの地域において地域紛争など政治的問題が大きいという地域事情や国際的なスポーツイベントが少ないという背景などによる。ラテンアメリカについては、ゲリラの動きや大統領選挙の動向、あるいは政権や政治体制に関わる記事が典型的にとり上げられているようであるし、オセアニアについては目立った出来事があった時にだけ記事が掲載されるにすぎないようである。このように、地域によってどのようなテーマの記事が期待されているのか、読者にはすでにある種のイメージを形成しているのではないかとさえ思われる。

それから、報道が数日にわたるような国際的行事

や重大事件があった場合はその月の集計表にも反映される。たとえば、1993年の海外10大ニュース（共同通信社選定）のトップに選ばれた「イスラエルとPLOが暫定自治宣言に調印」のあった9月の集計（表3）では、該当地域である「アジア」の「政治」欄の数値は高くなっている。また、同7位の「ボスニアや旧ソ連各地で民族紛争続く」8月の集計（表2）では該当地域の「東欧」の「政治」欄の数値が高くなっていることがわかる。そして最も顕著な例としてリレハンメル冬季オリンピック（1994年2月12日～28日）が開催された2月の集計（表8）における「ヨーロッパ」および「西欧」の「文化・スポーツ他」欄の突出した数値を挙げることができる。

III. 集計結果からの考察

9カ月間の集計結果については、先の日本新聞協会研究所によってとり上げられた日本の全国紙および地方紙数紙についての1週間の集計結果と同様に、外信記事の発信国と言及国はアメリカが第1位であり、これに中国、ソ連（ロシア）、イギリスほか西欧諸国といった順に続いており、集計表にも各地域の欄の数値に現れている。ある程度長期間にわたって集計したことによって、1週間の集計では十分に明らかにならなかったこともいくつか示すことができたと考える。たとえば、外信記事の地域的偏重や分野的不均等の問題は、多くの人が経験的にわかっていたことであろうが、実際に数値で表すことによってそれが示されたし、集計作業を通じて実感したことでもある。

新聞は、朝日現代用語「知恵蔵」にも記されているように、情報の大量伝達（マスコミュニケーション）の担い手の一つであり、一般大衆への情報伝達媒体（マスメディア）の代表の一つであることは言うまでもないが、広辞苑による「社会の出来事の報道・批判をすばやく、かつ広く伝えるための定期刊行物」という説明にあるように、新聞には新聞の社会的役割があり、また、一般大衆を対象にしたものであるという性格付けがある。筆者の（個人的）関心地域であるラテンアメリカに着目してみると、記

事数、量ともに少ないばかりでなく、とり上げられるテーマについても文化面の報道がもう少しとり上げられないものかと感じるが、たとえば同地域の情報については、『中南米新聞』といったより専門的な伝達媒介も存在している。

さいごに

新聞をはじめ、各マスメディアにはそれぞれの社会的役割や性格付けがあり、情報の受信者である我々は、そのことを踏まえたうえで積極的に新聞を利用し、また新聞以外からも外国の情報を得るようになる姿勢が国際理解において大切であると言える。

一方、外信記事を読者に供給する側の新聞社に対しては、徳島新聞のような地方紙の場合、共同通信や時事通信といった通信社からの外信記事を選択して国際面を構成するという現体制の枠組みにおいても、読者と通信社の間で紙面をより充実させる努力をしてほしいと思う。それは、徳島県の場合、徳島新聞の存在が非常に大きく、購読者の外国について

の文化形成において重要な役割を果たしていると思われるからであり、地方における国際理解という視点からも国際化社会における同紙の役割に期待したい。

謝辞：集計作業にあたり、作業を手伝って下さった近藤純子さん、データ処理の技術的アドバイスを下さった四国大学情報処理教育センターの大久保正信氏他の方々はこの場をお借りしてお礼申し上げます。

参考文献

- 日本新聞協会研究所（1979）：第1回「外国関係記事に関する紙面調査」報告書
- 日本新聞協会研究所（1984）：日米・アセアン相互報道調査中間報告—各国新聞・通信社の国際報道状況—
- 日本新聞協会（1993）：「全国新聞ガイド 1993年版」
- PHP 研究所（1993）：月刊「ざ・にじゅういち」1993年4月、No. 101